

姉妹都市

# ヘンダーソンビル市を訪問



今後の友好交流に  
確かな手応え

昭和五十八年、都留市はアメリカ、テネシー州ヘンダーソンビル市と姉妹都市の提携を行いました。その後七年間、相互に公式訪問団を派遣するなど交流を深めてきました。二年前の四月にヘンダーソンビル市から公式訪問団が都留市を訪れたのは記憶に新しいところです。今回の訪問団は、その際の会議の約束にもとづいた青年層を中心とした構成となりました。姉妹都市提携の際の訪問を含め三回目の公式訪問となります。団長には都留青年会議所早川理事長、市を代表して山口助役、桂高校の坂本校長、市民合唱団、ボーイスカウトの各代表、これまでの交流でホストファミリーとして友好を深めた主婦など総勢十八名です。訪問期間中、ホームステイを通じて、アメリカの家庭を知り、相互のより深い友好関係を促進して、これからの交流活動に向け、また大きく一歩前進することが出来ました。訪問初日の四月二十七日、桂高校はヘンダーソンビル市にあるヘンダーソンビル高校、ビーチ高校両校との姉妹校の提携調印を行い、生徒の相互派遣など今後定期的に交流することを約束しました。これから未来を担って行く高校生の国際交流には無限の可能性があり



ナッシュビル国際空港での出迎え

ます。彼らは自らの目で、真のアメリカを見、そこに住む人達の生活文化に触れることによって、きっと人生観が変わるような何か大きなものをつかむことが出来るでしょう。来年の三月には、まず桂高校が二十名ほどの生徒を派遣する予定です。

このほか青年会議所、市民合唱団、ボーイスカウトの代表は地元ヘンダーソンビル市の団体と交流、それぞれ独自のこれからの活動に向けて非常に意義のある話し合いが行われました。

なお、一九九三年には、姉妹都市提携十周年を記念して、ヘンダーソンビル市から公式訪問団が来市します。